

令和 7 年長浜市議会定例会

令和 7 年 1 2 月定例月議会

ていれいづきぎかい

市長提案説明

令和 7 年 1 1 月 2 8 日

## 近況報告

- 1 職員不祥事に関するお詫び
- 2 市立2病院の経営状況と今後の方向性について
- 3 坂口志文先生のノーベル賞受賞と名誉市民制度について
- 4 未来への投資について

## 議案等説明

- |         |                     |
|---------|---------------------|
| ・ 補正予算  | 7 議案（議案第101号～第107号） |
| ・ 条例    | 8 議案（議案第108号～第115号） |
| ・ その他議案 | 2 議案（議案第116号～第117号） |

本日ここに、令和7年12月定例会月議会の開会にあたり、議員の皆様にはご参集を賜り、厚くお礼申し上げます。

議案の説明に先立ち、現在の市政運営に関して、議員並びに市民の皆様と共有させていただきたい4点について申し上げます。職員不祥事へのお詫び、市立2病院の経営状況と今後の方向性、坂口志文先生のノーベル賞受賞と名誉市民制度、そして未来への投資についてであります。

## 1 職員不祥事に関するお詫び

まず、このたび本市職員が性的姿態撮影等処罰法違反の疑いで逮捕されました事案について申し上げます。

一報を受け、市政を担う者として大変遺憾であり、市民の皆様の信頼を裏切る行為として重く受け止めております。改めまして、被害にあわれた方、ならびに市民の皆様に深くお詫び申し上げます。

当該職員につきましては、11月17日付で懲戒免職処分とし、退職金を不支給とする厳正な対応を行ったところです。今後も人権尊重と綱紀粛正を徹底し、市民の皆様からの信頼回復に全力で取り組んでまいります。

## 2 市立 2 病院の経営状況と今後の方向性について

2 点目に、市立 2 病院の経営状況について申し上げます。

昨年 1 2 月、本市は全国に先駆けて病院の危機的状況を公表いたしました。令和 6 年度に 2 0 億円を超える赤字が見込まれること、令和 8 年頃には資金ショートの可能性があり、そして市から赤字補填を行った場合には市の財政も枯渇する可能性があることを、お示したところです。

こうした厳しい現実を踏まえ、市民の皆様の将来負担を少しでも軽くするため、病院事業とともに、直ちに経営再建の取組を始め、本年 7 月に病院事業から公表された経営改善実行計画についても、取組の前倒しや深掘りを重ねてお願いしてきました。

その結果、令和 7 年度は、特殊要因を除いた機械的な推計において、概ね経営改善実行計画に沿った形で 1 億円程度の経営改善が見込まれており、病院関係者の皆様のご努力に心より敬意を表します。

しかしながら、それでもなお、昨年度に引き続き 2 0 億円規模の赤字が発生する見込みであることも事実でありま

す。また、今後、計画どおりに取組が進んだとしても、相当の市民負担が必要となる状況が続きます。資金面では、令和８年度には内部留保が底を尽き、令和９年度には資金ショートの可能性もあるという非常に厳しい現実には直面しており、この状況から目を背けることは決してできません。

本市といたしましては、市民生活を守るため、引き続き病院事業と一丸となって経営改善の努力を徹底してまいります。

同時に、この一年は経営再建の取組に専念してまいりましたが、人口減少やコロナ禍の影響による患者数の減少といった構造的な収支悪化要因は変わらない状況です。今後は、再建の取組だけでなく、長浜市の将来の医療を守るための取組、すなわち病院再編に関する取組を、加速させていく必要があります。

現在、地域医療構想に関する法律の改正案が臨時国会で審議されており、国の政策も大きく動いております。こうした動向をしっかりと確認しながら、厚生労働省や滋賀県とも緊密に連携し、市民の皆様の負担をできる限り小さくする取組と、将来につながる病院再編の具体的な取組を、

丁寧に情報をお示ししながら、市民の皆様とともに考え、  
着実に進めてまいります。

### 3 坂口志文先生のノーベル賞受賞と名誉市民制度について

3点目に、本市出身で大阪大学特別栄誉教授である坂口志文先生について申し上げます。

まず、坂口志文先生、このたびのノーベル生理学・医学賞のご受賞、誠におめでとうございます。ふるさと長浜にとりましても大きな誇りであり、市民の皆様とともに心からお祝い申し上げます。

坂口先生は、長浜市曾根町にお生まれになり、びわ南小学校、びわ中学校、長浜北高等学校と、ふるさと長浜で学び育たれました。郷土で培われた探究心が、免疫の働きを制御する「制御性T細胞」の発見へとつながり、世界の医療に新たな道を開かれました。その業績は、まさに人類社会に大きく貢献する偉業であります。

先般開催した「お祝いの会」においては、坂口先生から  
「素心」<sup>そしん</sup>「若者へ ひとつひとつ 確実に」との色紙を頂戴

いたしました。「素<sup>そしん</sup>心」は飾らない心、基本に立ち返る姿勢を示す言葉であり、「ひとつひとつ」は、課題に丁寧に向き合う姿勢を若者へ託したものです。これらの言葉は私たちの仕事の原点とも重なるものであり、未来を担うこども・若者への大きな励ましであります。

坂口先生と、研究を長年支えてこられた奥様<sup>のりこ</sup> 教子様の歩みは、「長浜から世界へ」という志を体現しておられ、こども・若者たちに「努力は夢につながる」という確かな道筋を示してくださいました。

こうした意義を踏まえ、本議会に「長浜市名誉市民条例」の制定を提案しております。坂口先生ご夫妻の歩みを、教育や人材育成、シティプロモーションに広く活かし、「長浜から世界へ」と挑戦する若者を応援する基盤としてまいります。

名誉市民制度は、功績を顕彰し市政の発展に資するための重要な制度ではありますが、市町合併以降制度が無い状況が続いておりました。合併後の新長浜市として制度を設けるべく、その趣旨をご理解賜りますようお願い申し上げます。

#### 4 未来への投資について

最後に、未来への投資について申し上げます。

我が国は今、物価高と経済停滞が重なる厳しい状況にあり、社会のあらゆる分野が転換点を迎えております。その中で、高市内閣は「責任ある積極財政」を掲げ、戦略的な財政出動により経済を立て直し、成長力の強化と財政の持続可能性を同時に達成する方針を示されました。現在好評をいただいている「ながはま割」のような物価高対策、防災・減災、子育て支援など、将来の日本社会を支える分野への重点投資は、まさに今求められている姿勢であると考えます。

本市においても、人口減少、物価高、社会保障費の増大など厳しい財政環境が続いております。しかしながら、地域の未来を切り拓くために立ち止まるわけにはいきません。国が進める重点支援地方交付金の拡充、物価高騰対策といった経済対策など、国の制度や補正予算とも緊密に連携し、活用可能な財源を積極的に確保しながら、予算を編成してまいります。



もっとも、「積極財政」とは、単に歳出を拡大することを意味するものではありません。「責任ある」積極財政として、

第一に、こども・若者、健康・医療・福祉、安全・安心など、守るべき分野は精査しつつも着実に確保すること。

第二に、国や県の制度を最大限活用し、未来を支える戦略分野に重点的に投資すること。

これらを軸に、財政規律と成長投資の両立を図ってまいります。

とりわけ、次期総合計画の基本コンセプトである「長浜市の未来図」においては、「開かれたシビックプライド」を背骨とし、七つの輝きが織りなすまちづくりを推進しております。こども・若者、産業、観光・文化、健康・医療・福祉、安全・安心といった分野は、国が重点投資を示す領域とも重なっており、本市の未来を支える柱であります。

こうした分野への投資は単なる支出ではなく、市民の安心と希望を次の世代へつなぐ「前向きな投資」です。国・県の制度活用や民間との連携、外部資源の導入など、財源の確保と創出に積極的に挑む姿勢が求められています。財政の厳しさを理由に縮むのではなく、知恵と工夫で広げて

いくことこそが、「長浜市の未来図」を実現し、持続可能な自治体経営につながると考えます。

なお、地元選出の上野賢一郎衆議院議員が厚生労働大臣に就任されました。国の医療政策との連携が一層重要となる中、本市としても、病院の再建・再編をはじめ地域医療や福祉の充実に確実に取り組んでまいります。

私は、厳しい時代だからこそ、行政が先頭に立ち、課題を決して先送りすることなく、国の方向性と歩調を合わせながら、地域の力を最大限引き出していくことが重要だと考えております。「できない理由」ではなく「できる方法」を探し、未来を切り拓く市政を着実に進めてまいります。

議員の皆様におかれましても、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、提案いたしました議案につきまして、ご説明申し上げます。

議案第１０１号から議案第１０７号までは、補正予算です。

議案第１０１号は、一般会計の補正予算で、総額８億

8, 700万<sup>よ</sup>余円の追加補正であります。

その主なものとしまして、総務費では、ふるさと寄附金が当初の見込みよりも増える見通しであることから基金への積立金を追加計上しております。

民生費では、しょうがい者自立支援給付費や放課後児童クラブの事業委託料の不足が見込まれることから追加予算を計上しております。また、放課後児童クラブの新規開設支援にかかる予算を計上しております。

農業費では、国県の補助採択が受けられる見通しとなった農地集積協力事業及び農業水利施設の管理強化事業に係る予算を計上しております。

商工費では、ふるさと寄附金の増加に伴う返礼品等の費用を追加計上しております。

土木費では、債務負担行為により契約を行いましたウッドパル余呉及び妙理の里整備検討業務の今年度支払い分を計上しております。また、「ながはま次世代住宅新築リフォーム支援事業補助金」について、今年度に交付決定が見込まれる分の予算を計上し、併せて繰越明許費くりこしめいきょひを設定しております。また、低濃度P C Bの含有が判明した豊公園内

の変圧器の更新費用を計上し、併せて繰越明許費くりこしめいきょひを設定しております。

消防費では、全国瞬時警報システムの受信機を更新する費用を計上しております。

教育費では、令和8年4月の開校に向けた伊香具小学校及び木之本小学校の統合準備に必要な費用を計上しております。また、学校施設改修について、国庫採択の状況に合わせて、当初予算で措置していましたが西中学校体育館屋根改修工事は今年度の実施を見送ることとして減額、湖北中学校第二期長寿命化工事は取りやめることとして債務負担行為を廃止し、工事内容をエレベータ増設等工事に見直し、改めて債務負担行為を設定します。さらに、長浜南部学校給食センターの厨房機器を更新する費用を計上し、併せて、繰越明許費を設定しております。

以上の財源といたしましては、国県支出金くにけん、負担金、寄附金、繰入金、繰越金、市債、諸収入じゅうとうを充当し、収支の均衡を図っております。

議案第102号は、国民健康保険特別会計の補正予算で、

前年度決算の確定に伴う精算により県費の<sup>ちょうか</sup>超過受入分を返還するものであります。

議案第１０３号は、後期高齢者医療保険特別会計の補正予算で、保険料収入の増加見込に伴い後期高齢者医療広域連合への納付金を追加するものであります。

議案第１０４号は、介護保険特別会計の補正予算で、税制改正に関連する介護保険システムの改修費用を計上するものです。

議案第１０５号は、農業集落排水事業特別会計の補正予算で、消費税の支払い見込額の増加に伴い、所要の予算措置を講じるものです。

議案第１０６号は、病院事業会計の補正予算で、湖北病院の薬品費、材料費及び修繕費用を追加するほか、放射線機器の一括保守費用について債務負担行為を設定するものです。

議案第１０７号は、公共下水道事業会計の補正予算で、令和６年度事業費が確定したことに伴い、資本費平準化債を増額するとともに、元利償還金について、所要の予算措置を講じるものです。

次に、議案第１０８号から議案第１１５号までは、条例の制定及び改正であります。

議案第１０８号は、先ほども触れましたとおり、坂口<sup>さかぐち</sup>志文<sup>しもん</sup>先生のノーベル生理学・医学賞の受賞を契機として、市町合併後の新長浜市として名誉市民制度を創設するものです。

議案第１０９号は、新たに創設された「こども誰でも通園制度」の実施にあたり、児童福祉法の定めに従い、設備及び運営の基準を定めるものです。

議案第１１０号は、職員が出張する場合に支給する宿泊料について、社会情勢の変化に対応し、実態に即した支給を行うため、引き上げるものです。

議案第１１１号は、建築基準法施行令の改正に伴い、引用条項の整理を行うものです。

議案第１１２号は、旅館等の建築に係る手続きの迅速化を図るため、旅館等建築規制審議会への意見聴取の要件を見直すものです。

議案第１１３号は、災害時等の排水設備等の破損に対し

て、迅速な対応を可能とするため他の市町村の指定業者が工事を行うことができるよう規定を追加するものです。

議案第 1 1 4 号は、伊香具小学校と木之本小学校を統合するものです。

議案第 1 1 5 号は、放課後児童支援員の要件に地域限定保育士を追加するものです。

次に、議案第 1 1 6 号及び議案第 1 1 7 号は、その他の事件議案でございます。<sup>おおやけ</sup>公の施設の指定管理者を指定することについて、地方自治法の規定により議会の議決をお願いするものです。

以上、本日ご提案申しあげました<sup>しょぎあん</sup>諸議案につきまして、なにとぞ、慎重なるご審議の上、ご議決を<sup>たまわ</sup>賜りますようお願い申し上げます。